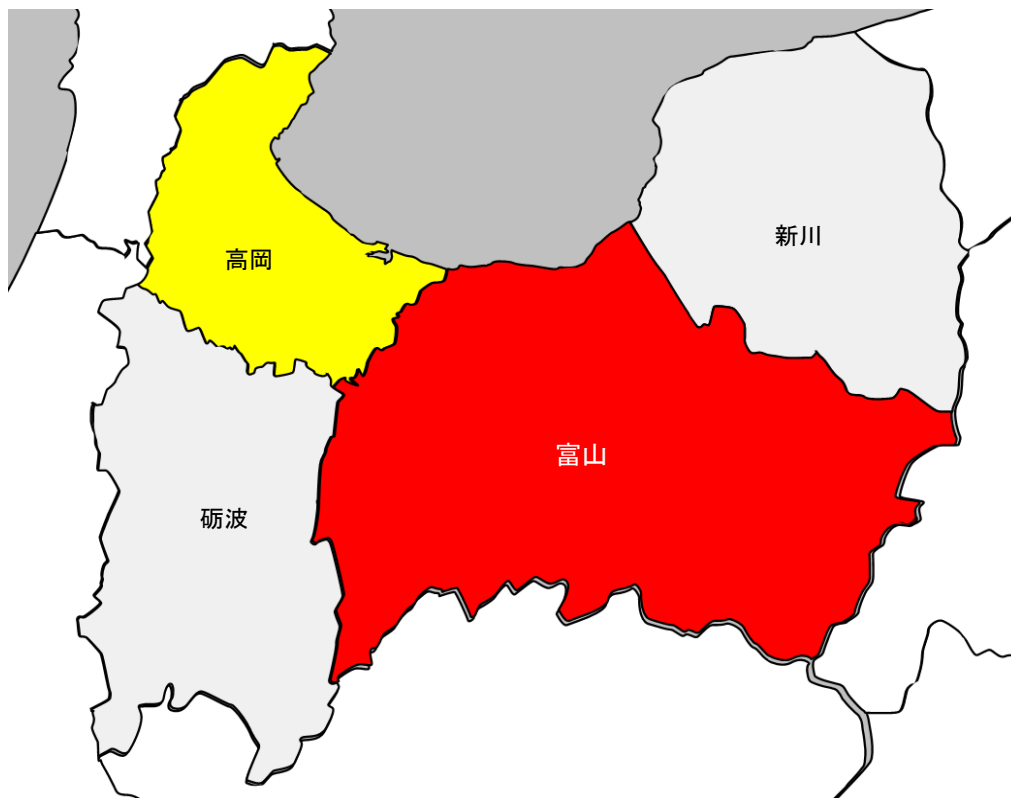


16. 富山県



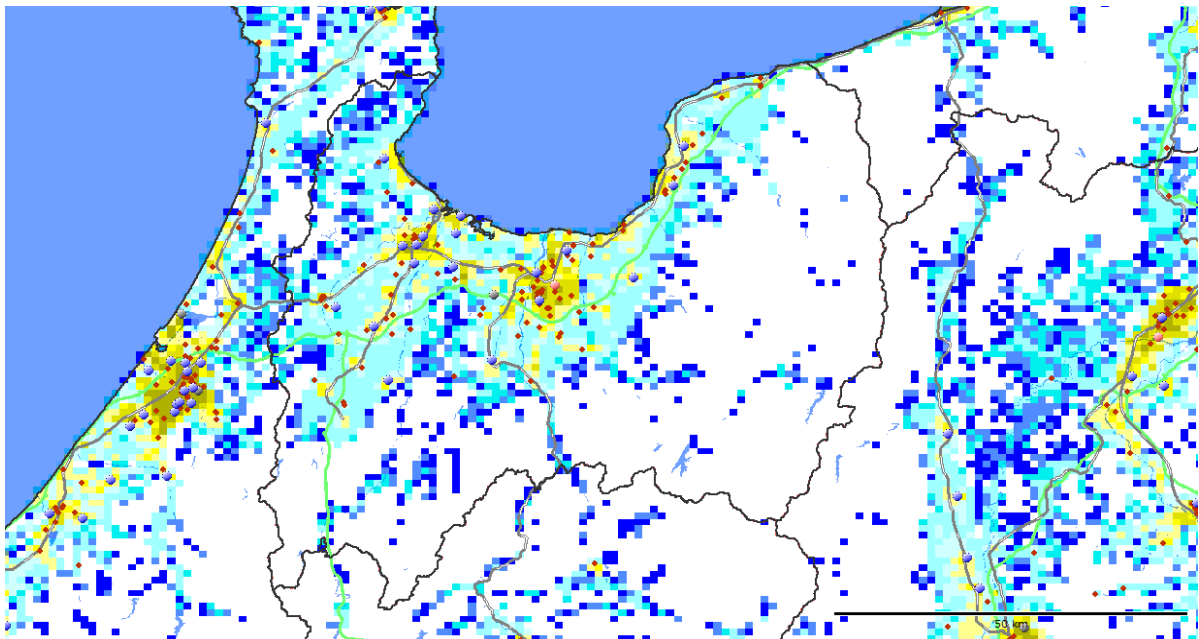
16. 富山県（2016年版）

目次

富山県	16 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	16 - 8
1. 新川医療圏	16 - 20
2. 富山医療圏	16 - 25
3. 高岡医療圏	16 - 30
4. 砺波医療圏	16 - 35

16. 富山県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

(富山県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 富山県は、総人口約1064千人(2015年推計)、面積4248km²、人口密度は250人/km²である。

*人口の将来予測： 富山県の総人口は2025年に986千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に841千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の161千人が、2025年にかけて206千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には190千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 富山県の一人当たり医療費(国保)は344千円(偏差値56)、介護給付費は283千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 富山県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.29、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.84で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が50(病院医師数52、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 富山県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、16348人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が12551床(偏差値64)、高齢者住宅等が3797床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13591人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設75、有料老人ホーム37、軽費ホーム45、グループホーム52、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1482人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-5%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

富山県の総人口は、2005年1111729人が、2015年に1063918人と4%減少し、2025年の人口が985889人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

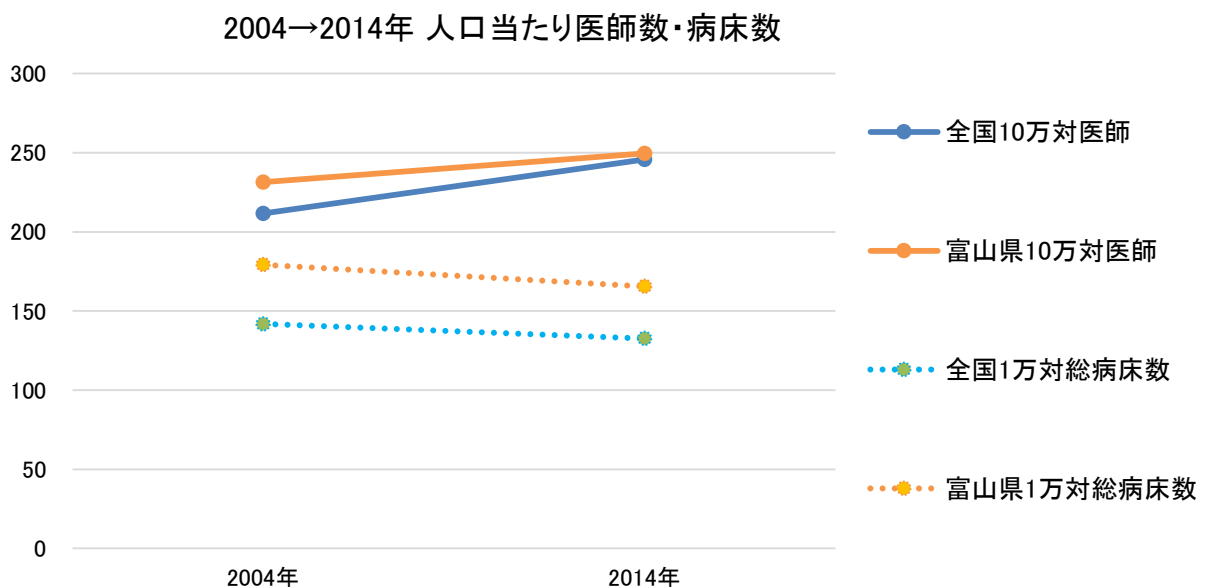
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が115(人口10万人当たり10.3病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2014年に107(人口10万人当たり10.1病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が780(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に768(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、12診療所が減少した。

2004年の総病床数が19933床(人口1万人当たり179(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に17615床(人口1万人当たり166(全国平均133)偏差値56)と、2318床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

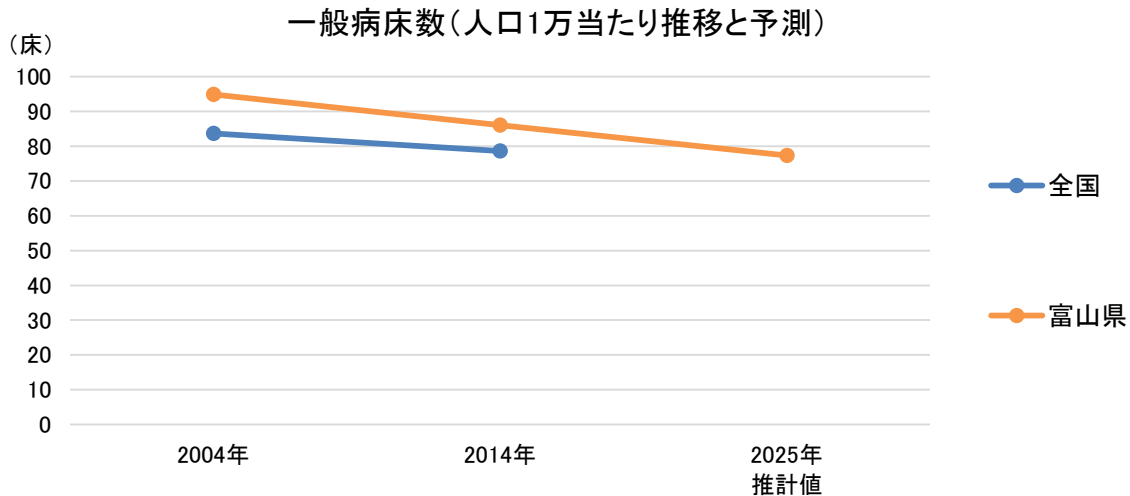
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が2574人(人口10万人当たり232人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2014年に2656人(人口10万人当たり250人(全国平均246人)偏差値50)と、82人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



16. 富山県（2016年版）

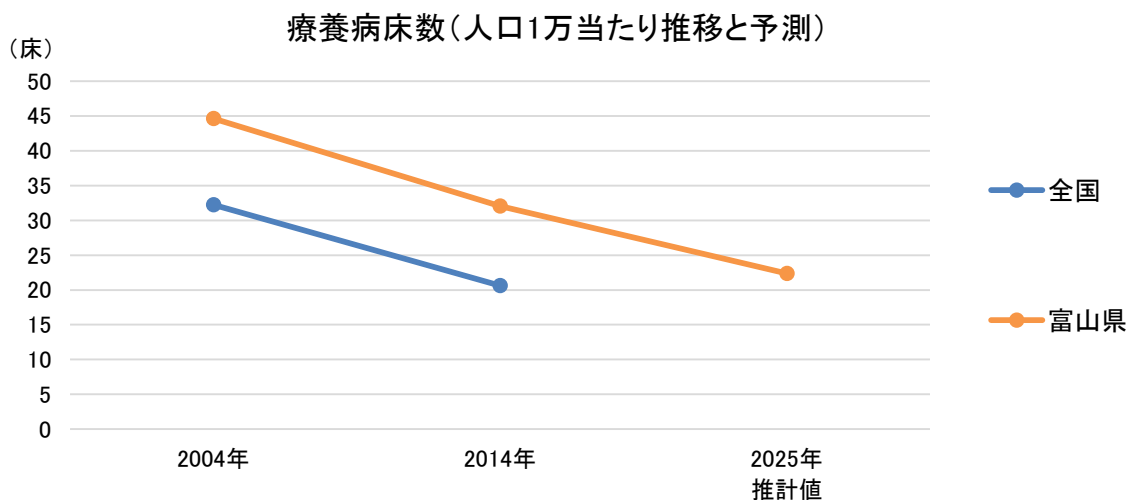
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が10551床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に9155床(人口1万人当たり86(全国平均79)偏差値53)と、1396床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7620床(2025年の推計人口1万人当たり77)になることが予想される。



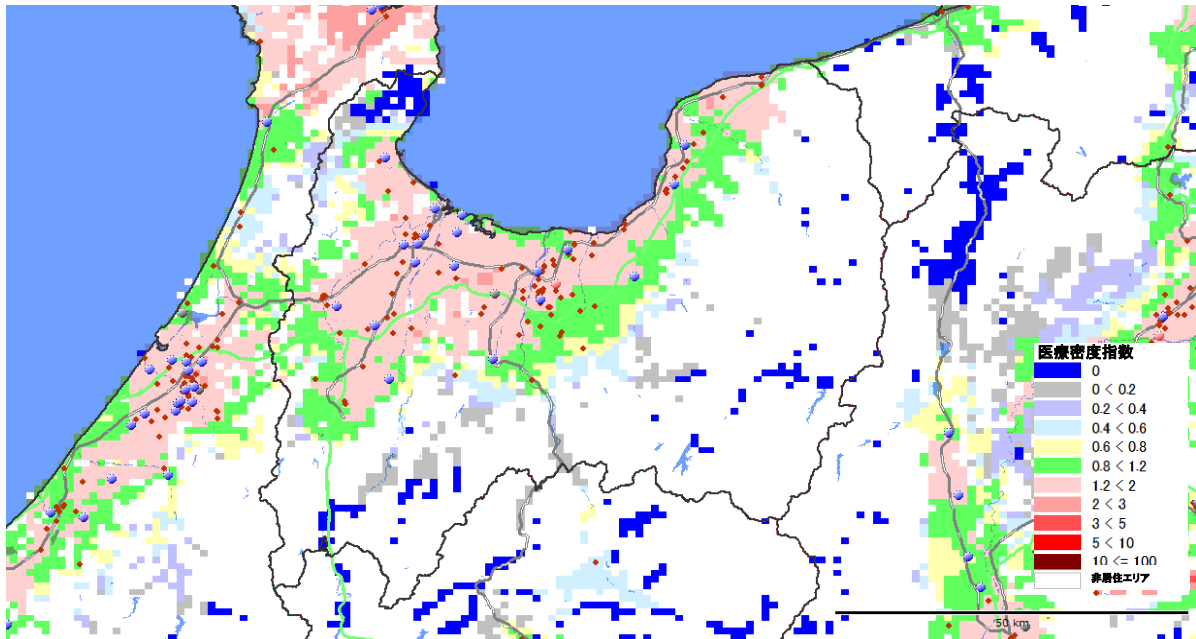
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5655床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に5153床(75歳以上1000人当たり32(全国平均21)偏差値60)と、502床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4601床(2025年の推計75歳以上1000人当たり22)になることが予想される。

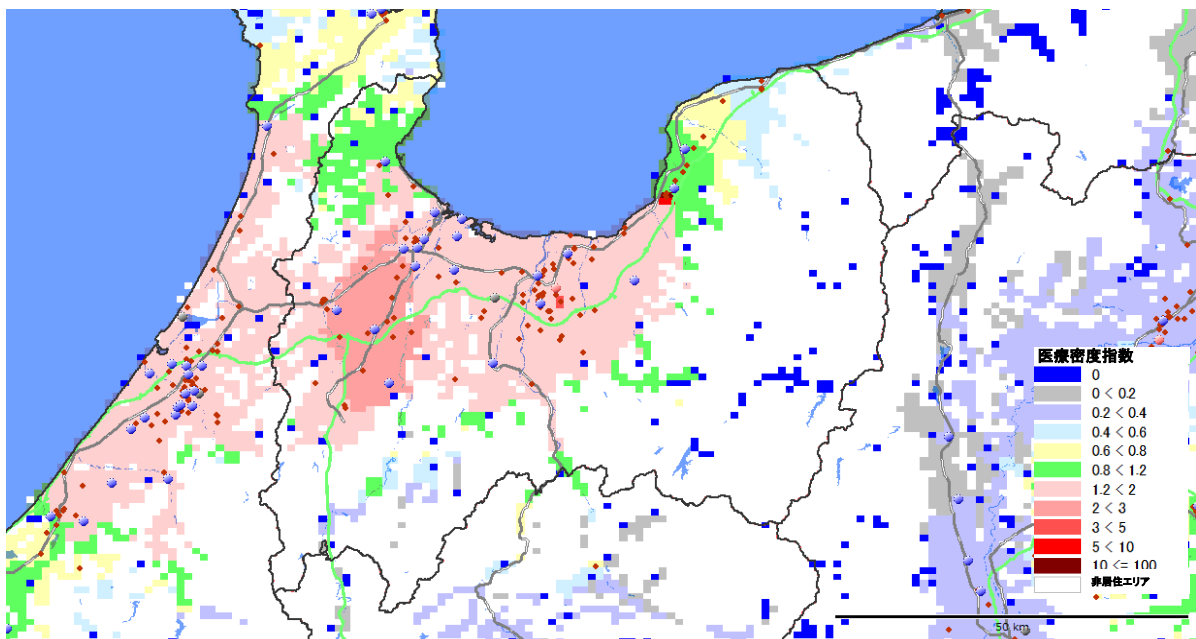


3. 医療密度⁵

図表16-1 急性期医療密度指数マップ



図表16-2 慢性期医療密度指数マップ



16. 富山県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 16-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
富山県	1,064	37位	4,248	33位	250.5		31%	986	841	161	206	190	-7%	-15%	28%	-8%
新川	123	12%	925	22%	132.7	過疎地域型	33%	111	92	21	25	22	-10%	-17%	19%	-12%
富山	500	47%	1,844	43%	271.3	地方都市型	29%	473	416	70	92	87	-5%	-12%	31%	-5%
高岡	310	29%	549	13%	564.9	地方都市型	32%	283	235	48	62	55	-9%	-17%	29%	-11%
砺波	131	12%	930	22%	140.7	過疎地域型	33%	119	99	23	27	25	-9%	-17%	17%	-7%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 16-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
富山県	1.29	1.84	-13.4%	-4.6%
新川	1.24	2.03	-5.4%	5.6%
富山	1.22	1.48	-14.4%	-8.6%
高岡	1.42	1.87	-26.0%	-11.9%
砺波	1.29	1.06	-1.4%	5.3%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資_図表 16-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
富山県	344	56	0.972	283	58
新川	360	60	0.974	276	56
富山	342	56	0.973	289	59
高岡	342	56	0.960	274	55
砺波	341	55	0.952	294	61
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 16-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	診療所数			診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差				
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
富山県	107	1.3%	10.1	58	768	0.8%	72	46
新川	14	13%	11.4	61	79	10%	64	42
富山	50	47%	10.0	58	382	50%	76	48
高岡	27	25%	8.7	55	219	29%	71	46
砺波	16	15%	12.2	63	88	11%	67	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 16-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	無床 診療所数			有床 診療所数							
		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
富山県	768	0.8%	72	46	715	0.8%	67	47	53	0.6%	5.0	48
新川	79	10%	64	42	76	11%	62	44	3	6%	2.4	44
富山	382	50%	76	48	357	50%	71	49	25	47%	5.0	48
高岡	219	29%	71	46	198	28%	64	45	21	40%	6.8	50
砺波	88	11%	67	44	84	12%	64	46	4	8%	3.1	45
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

16. 富山県（2016年版）

資_図表 16-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
富山県	16,880	1.1%	1,587	57	735	0.7%	69	48	17,615	1.0%	1,656	56
新川	2,176	13%	1,774	61	39	5%	32	45	2,215	13%	1,806	58
富山	8,343	49%	1,668	59	327	44%	65	48	8,670	49%	1,733	57
高岡	4,036	24%	1,301	51	300	41%	97	51	4,336	25%	1,398	51
砺波	2,325	14%	1,777	61	69	9%	53	47	2,394	14%	1,830	59
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 16-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
富山県	8,461	0.9%	795	54	5,112	1.6%	480	61	3,203	0.9%	301	52
新川	1,055	12%	860	57	817	16%	666	69	290	9%	236	49
富山	4,131	49%	826	55	2,627	51%	525	63	1,531	48%	306	52
高岡	2,274	27%	733	51	873	17%	281	51	862	27%	278	50
砺波	1,001	12%	765	53	795	16%	608	67	520	16%	397	56
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 16-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
富山県	421	0.6%	40	47	630	1.7%	59	55
新川	83	20%	68	53	40	6%	33	50
富山	253	60%	51	49	190	30%	38	51
高岡	49	12%	16	42	199	32%	64	56
砺波	36	9%	28	44	201	32%	154	75
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局（関東信越厚生 局のみ7月公表分）。近畿厚生局は病床数 データがないため非掲載。			

資_図表 16-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24)	9.1%	(23%)
富山県	7,699	6,963	98	9,243	1,493	5,081	82.3%	62	1.9%	47
新川	913	899	0	1,238	156	792	85.2%	64	0.0%	46
富山	3,758	3,433	0	4,585	698	2,627	83.1%	63	0.0%	46
高岡	1,702	1,630	0	2,421	639	965	71.8%	58	0.0%	46
砺波	1,326	1,001	98	999	0	697	100.0%	70	12.3%	51
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 16-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
富山県	30,036	1.1%	2,823	56	8,844	0.9%	831	51
新川	3,048	10%	2,485	52	912	10%	744	48
富山	15,696	52%	3,138	59	4,452	50%	890	53
高岡	8,244	27%	2,658	54	2,808	32%	905	53
砺波	3,048	10%	2,330	51	672	8%	514	40
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 16-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
富山県	2,817	0.8%	265	50	1,899	0.9%	179	52	918	0.7%	86	45
新川	278	10%	226	45	192	10%	156	49	86	9%	70	40
富山	1,566	56%	313	55	1,077	57%	215	57	489	53%	98	48
高岡	676	24%	218	44	428	23%	138	46	248	27%	80	43
砺波	298	11%	227	45	203	11%	155	48	95	10%	72	41
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

16. 富山県 (2016年版)

資_図表 16-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
富山県	177	1.1%	16.6	56	120	1.0%	11.3	53	89	0.9%	8.4	50
新川	19	11%	15.5	55	6	5%	4.9	39	8	9%	6.5	46
富山	109	62%	21.8	64	80	67%	16.0	63	58	65%	11.6	59
高岡	38	21%	12.3	50	26	22%	8.4	47	14	16%	4.5	40
砺波	11	6%	8.4	44	8	7%	6.1	42	9	10%	6.9	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 16-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
富山県	55	1.0%	5.2	55	84	0.9%	7.9	51	65	0.9%	6.1	51
新川	6	11%	4.9	53	10	12%	8.2	52	6	9%	4.9	46
富山	25	45%	5.0	54	44	52%	8.8	54	35	54%	7.0	54
高岡	18	33%	5.8	58	20	24%	6.4	47	17	26%	5.5	48
砺波	6	11%	4.6	52	10	12%	7.6	51	7	11%	5.4	48
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 16-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
富山県	69	0.8%	6.5	50	170	0.8%	16.0	50	153	1.0%	14.4	55
新川	4	6%	3.3	41	19	11%	15.5	49	8	5%	6.5	38
富山	39	57%	7.8	54	98	58%	19.6	55	89	58%	17.8	63
高岡	14	20%	4.5	44	35	21%	11.3	43	37	24%	11.9	50
砺波	12	17%	9.2	57	18	11%	13.8	47	19	12%	14.5	55
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 16-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
富山県	49	0.9%	4.6	50	68	1.1%	6.4	56	61	1.2%	5.7	55
新川	6	12%	4.9	52	13	19%	10.6	73	5	8%	4.1	50
富山	30	61%	6.0	57	36	53%	7.2	59	35	57%	7.0	59
高岡	7	14%	2.3	39	14	21%	4.5	48	13	21%	4.2	50
砺波	6	12%	4.6	50	5	7%	3.8	45	8	13%	6.1	56
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 16-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
富山県	64	1.0%	6.0	53	22	1.4%	2.1	59	20	0.6%	1.9	46
新川	3	5%	2.4	41	1	5%	0.8	46	0	0%	0	35
富山	35	55%	7.0	56	13	59%	2.6	65	11	55%	2.2	48
高岡	20	31%	6.4	54	5	23%	1.6	54	5	25%	1.6	44
砺波	6	9%	4.6	48	3	14%	2.3	62	4	20%	3.1	53
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 16-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
富山県	10	0.5%	0.9	45	17	0.7%	1.6	48
新川	2	20%	1.6	51	1	6%	0.8	42
富山	4	40%	0.8	44	14	82%	2.8	57
高岡	3	30%	1.0	45	0	0%	0	36
砺波	1	10%	0.8	43	2	12%	1.5	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

16. 富山県 (2016年版)

資_図表 16-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
富山県	11,081	1.0%	1,042	56	9,348	1.0%	879	57	1,733	0.9%	163	51
新川	1,182	11%	964	53	1,017	11%	829	55	165	10%	134	47
富山	5,806	52%	1,161	60	4,841	52%	968	61	965	56%	193	55
高岡	2,740	25%	883	50	2,315	25%	746	51	425	25%	137	47
砺波	1,353	12%	1,034	56	1,175	13%	898	58	178	10%	136	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 16-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
富山県	898	0.8%	84	48	2,843	1.0%	267	54
新川	117	13%	95	50	221	8%	180	45
富山	466	52%	93	50	1,706	60%	341	62
高岡	183	20%	59	43	688	24%	222	49
砺波	132	15%	101	51	228	8%	174	45
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 16-20 在宅医療施設数 (在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
富山県	59	0.4%	0.4	39	11	1.0%	0.1	50	59	0.6%	0.4	38
新川	3	5%	0.1	34	2	18%	0.1	55	10	17%	0.5	45
富山	34	58%	0.5	41	4	36%	0.1	48	27	46%	0.4	39
高岡	17	29%	0.4	38	4	36%	0.1	52	17	29%	0.4	38
砺波	5	8%	0.2	35	1	9%	0.0	46	5	8%	0.2	30
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資_図表 16-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
富山県	16,348	1.0%	102	51	12,551	1.3%	78	64	3,797	0.6%	24	39
新川	2,073	13%	101	51	1,739	14%	85	70	334	9%	16	34
富山	7,420	45%	106	54	5,686	45%	81	67	1,734	46%	25	40
高岡	4,583	28%	96	48	3,373	27%	71	59	1,210	32%	25	41
砺波	2,272	14%	99	50	1,753	14%	77	63	519	14%	23	39
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 16-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
富山県	4,539	1.3%	28	61	5,713	1.0%	36	52	2,299	3.4%	14.3	75
新川	529	12%	26	57	887	16%	43	59	323	14%	15.7	78
富山	2,220	49%	32	67	2,358	41%	34	50	1,108	48%	15.9	78
高岡	1,190	26%	25	55	1,743	31%	37	53	440	19%	9.2	62
砺波	600	13%	26	57	725	13%	32	48	428	19%	18.7	85
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費ホーム				グループホーム			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
富山県	41	0.0%	0.3	37	69	0.3%	0.4	45	2,051	1.1%	12.8	52
新川	0	0%	0	37	0	0%	0	43	225	11%	10.9	49
富山	0	0%	0	37	69	100%	1.0	48	666	32%	9.5	46
高岡	41	100%	0.9	38	0	0%	0	43	674	33%	14.2	55
砺波	0	0%	0	37	0	0%	0	43	486	24%	21.3	67
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

16. 富山県（2016年版）

資_図表 16-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
富山県	1,636	0.8%	10.2	46	36	0.3%	0.2	46	1,600	0.8%	9.9	47
新川	109	7%	5.3	39	0	0%	0	45	109	7%	5.3	39
富山	999	61%	14.3	52	36	100%	0.5	48	963	60%	13.8	53
高岡	495	30%	10.4	46	0	0%	0	45	495	31%	10.4	47
砺波	33	2%	1.4	33	0	0%	0	45	33	2%	1.4	33
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 16-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
富山県	2,265	1.4%	14.1	68	1,987	1.7%	12.4	74	278	0.7%	1.7	40
新川	319	14%	15.5	74	289	15%	14.1	82	30	11%	1.5	37
富山	1,057	47%	15.1	73	927	47%	13.3	78	130	47%	1.9	42
高岡	534	24%	11.2	56	456	23%	9.6	61	78	28%	1.6	39
砺波	355	16%	15.5	74	315	16%	13.8	80	40	14%	1.7	40
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
富山県	15,073	1.0%	94	53	13,591	1.1%	85	57	1,482	0.7%	9.2	42
新川	1,869	12%	91	51	1,675	12%	81	54	194	13%	9.4	42
富山	6,626	44%	95	54	5,838	43%	84	56	788	53%	11.3	46
高岡	4,477	30%	94	53	4,126	30%	87	59	351	24%	7.4	39
砺波	2,101	14%	92	52	1,953	14%	85	58	148	10%	6.5	37
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
富山県	6,234	0.6%	39	41	2,623	0.6%	16	42	10,110	0.7%	63	41
新川	877	14%	43	43	227	9%	11	37	1,085	11%	53	38
富山	2,811	45%	40	42	1,151	44%	16	42	5,487	54%	79	46
高岡	2,031	33%	43	43	703	27%	15	40	2,599	26%	55	38
砺波	515	8%	23	36	542	21%	24	49	939	9%	41	34
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
富山県		1,111,729	1,063,918	-4%	985,889	-11%	8%	1%	10%
新川	過疎地域型	131,730	122,660	-7%	111,170	-16%	5%	-1%	4%
富山	地方都市型	508,964	500,256	-2%	472,771	-7%	11%	3%	15%
高岡	地方都市型	329,933	310,169	-6%	283,228	-14%	7%	1%	8%
砺波	過疎地域型	141,102	130,833	-7%	118,720	-16%	4%	-1%	3%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 16-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
富山県	115	10.3	58	107	10.1	58	-8	-7%	99
新川	15	11.4	61	14	11.4	61	-1	-7%	13
富山	52	10.2	58	50	10.0	58	-2	-4%	48
高岡	29	8.8	54	27	8.7	55	-2	-7%	25
砺波	19	13.5	67	16	12.2	63	-3	-16%	13
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

16. 富山県 (2016年版)

資_図表 16-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
富山県	780	70	47	768	72	46	-12	-2%	755
新川	87	66	45	79	64	42	-8	-9%	70
富山	381	75	49	382	76	48	1	0%	383
高岡	229	69	47	219	71	46	-10	-4%	208
砺波	83	59	41	88	67	44	5	6%	94
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 16-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
富山県	2,574	232	52	2,656	250	50	82	3%	2,746
新川	243	184	47	254	207	46	11	5%	266
富山	1,422	279	58	1,487	297	55	65	5%	1,559
高岡	632	192	48	635	205	46	3	0%	638
砺波	277	196	48	280	214	47	3	1%	283
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 16-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
富山県	19,933	179	57	17,615	166	56	-2,318	-12%	15,065
新川	2,434	185	58	2,215	181	58	-219	-9%	1,974
富山	9,797	192	59	8,670	173	57	-1,127	-12%	7,430
高岡	5,071	154	52	4,336	140	51	-735	-14%	3,528
砺波	2,631	186	58	2,394	183	59	-237	-9%	2,133
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 16-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
富山県	10,551	95	54	9,155	86	53	-1,396	-13%	7,620	77
新川	1,228	93	53	1,094	89	54	-134	-11%	947	85
富山	4,921	97	55	4,446	89	54	-475	-10%	3,924	83
高岡	3,152	96	54	2,562	83	51	-590	-19%	1,913	68
砺波	1,250	89	52	1,053	80	51	-197	-16%	836	70
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 16-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
富山県	5,655	45	57	5,153	32	60	-502	-9%	4,601	22
新川	897	54	62	817	40	66	-80	-9%	729	29
富山	2,888	55	63	2,639	38	65	-249	-9%	2,365	26
高岡	1,034	27	47	885	19	48	-149	-14%	721	12
砺波	836	43	56	812	36	63	-24	-3%	786	29
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

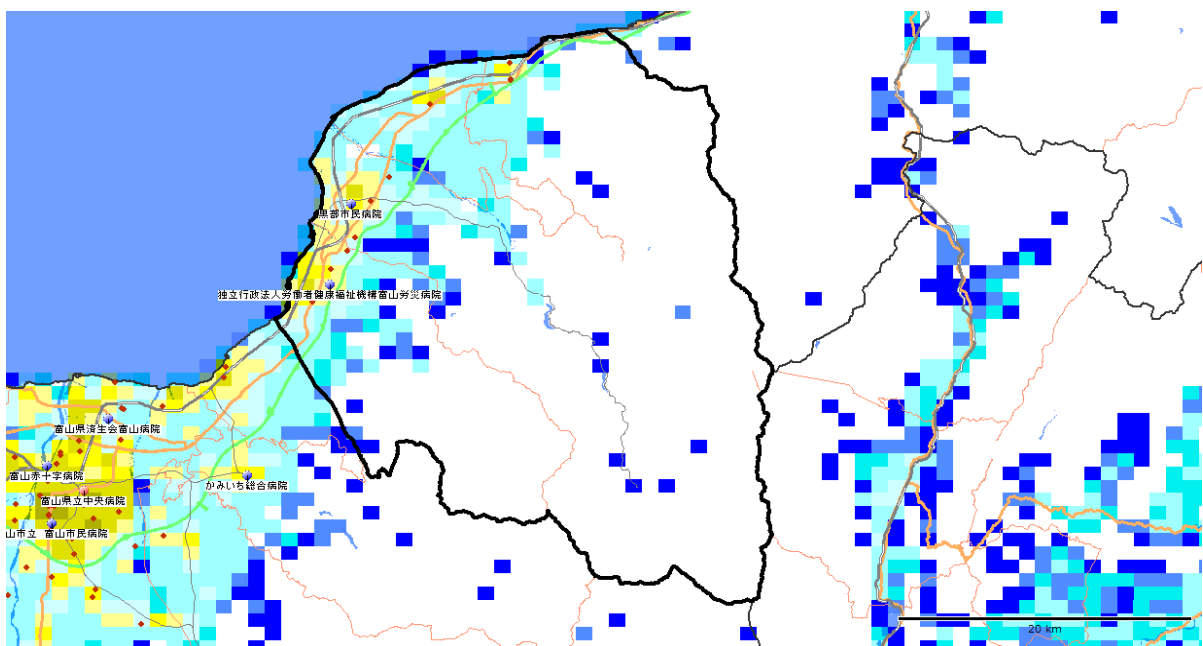
資_図表 16-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
富山県	353	56	0.994	150	58	1.105	182	53	0.937
新川	363	59	0.960	159	61	1.089	183	53	0.889
富山	355	56	0.981	145	57	1.044	187	56	0.955
高岡	352	56	0.960	153	59	1.081	177	50	0.890
砺波	342	53	0.931	149	58	1.054	171	47	0.859
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

16-1. にいかわ 新川医療圏

構成市区町村¹⁰ [魚津市](#) [黒部市](#) [入善町](#) [朝日町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(新川医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 新川(魚津市)は、総人口約123千人(2015年推計)、面積925km²、人口密度は133人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 新川の総人口は2025年に111千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に92千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の21千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には22千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 新川の一人当たり医療費(国保)は360千円(偏差値60)、介護給付費は276千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 新川の一人当たり急性期医療密度指数²は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.03で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数49、診療所医師数40)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。新川には、年間全身麻酔件数が1000例以上の黒部市民病院(Ⅲ群)、500例以上の富山労災病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は69と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 新川の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2073人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1739床(偏差値70)、高齢者住宅等が334床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1675人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設78、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム49、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、194人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+6%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

新川医療圏の総人口は、2005年131730人が、2015年に122660人と7%減少し、2025年の人口が111170人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

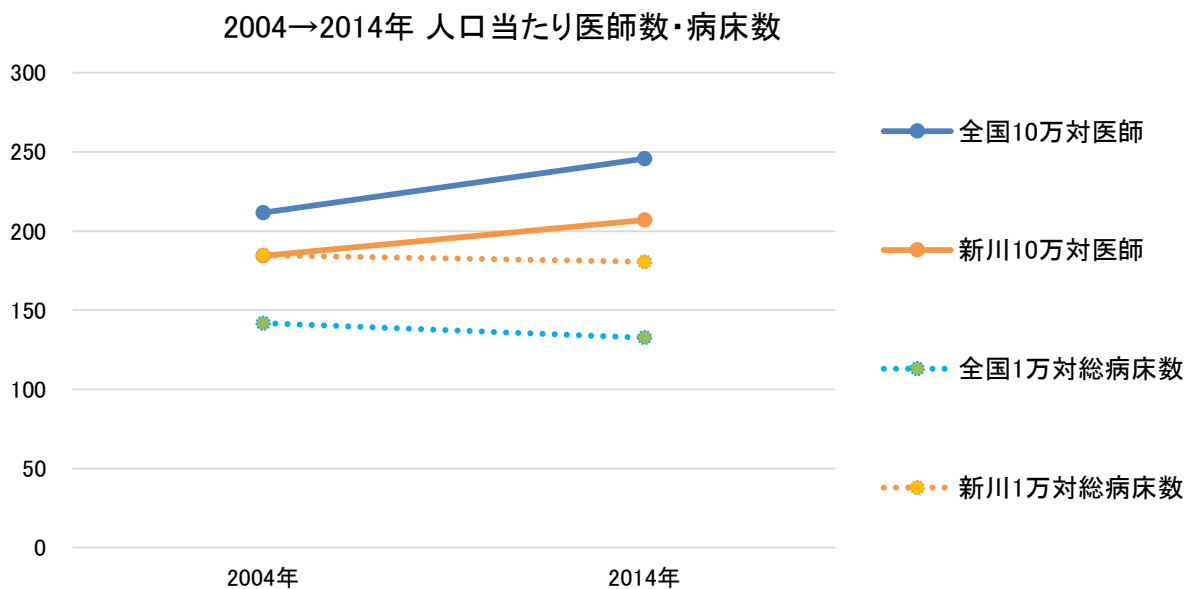
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が15(人口10万人当たり11.4病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に14(人口10万人当たり11.4病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が87(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に79(人口10万人当たり64診療所(全国平均79)偏差値42)と、8診療所が減少した。

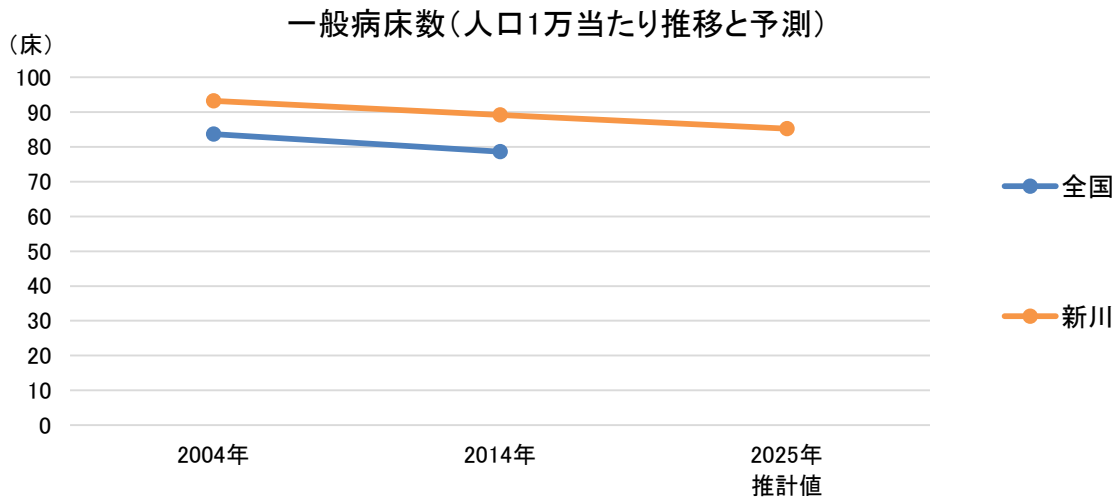
2004年の総病床数が2434床(人口1万人当たり185(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に2215床(人口1万人当たり181(全国平均133)偏差値58)と、219床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が243人(人口10万人当たり184人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に254人(人口10万人当たり207人(全国平均246人)偏差値46)と、11人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



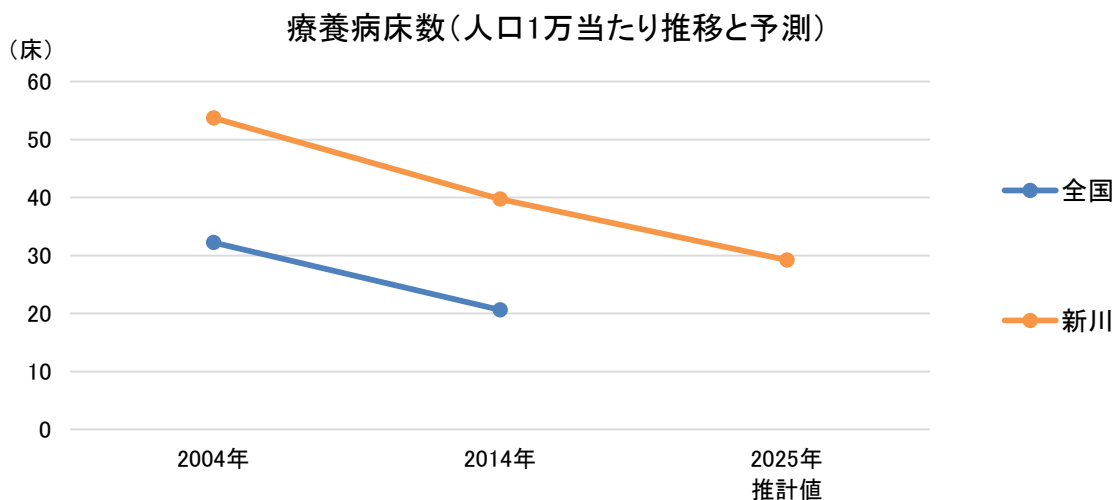
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1228床(人口1万人当たり93(全国平均84)偏差値53)であったが、2014年に1094床(人口1万人当たり89(全国平均79)偏差値54)と、134床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には947床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



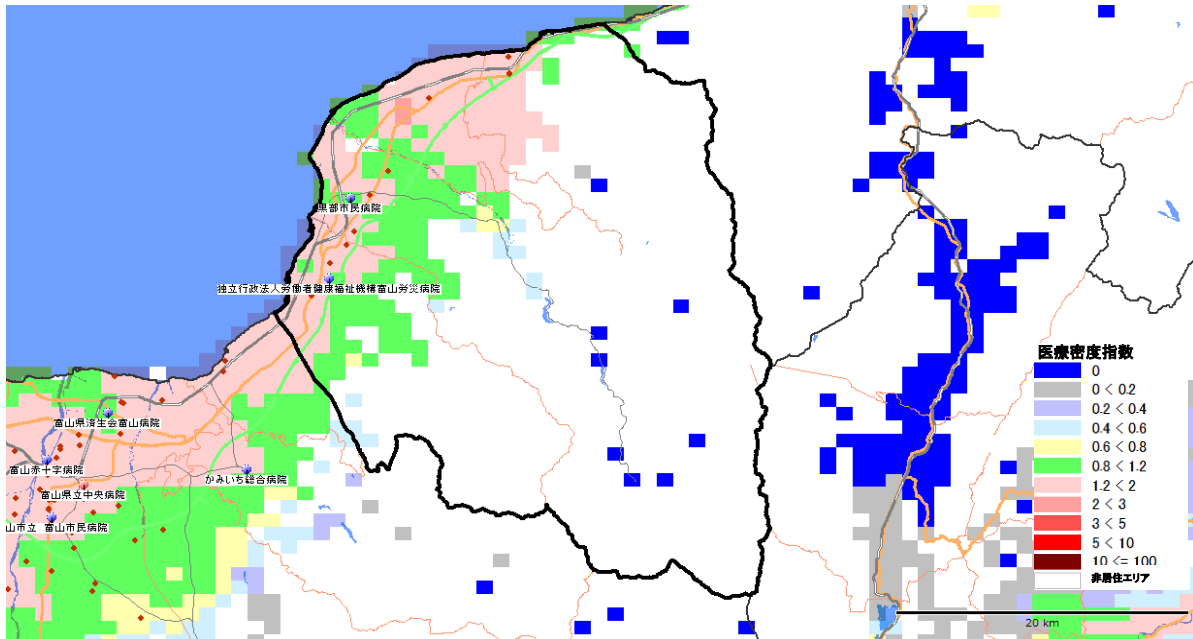
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が897床(75歳以上1000人当たり54(全国平均32)偏差値62)であったが、2014年に817床(75歳以上1000人当たり40(全国平均21)偏差値66)と、80床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には729床(2025年の推計75歳以上1000人当たり29)になることが予想される。

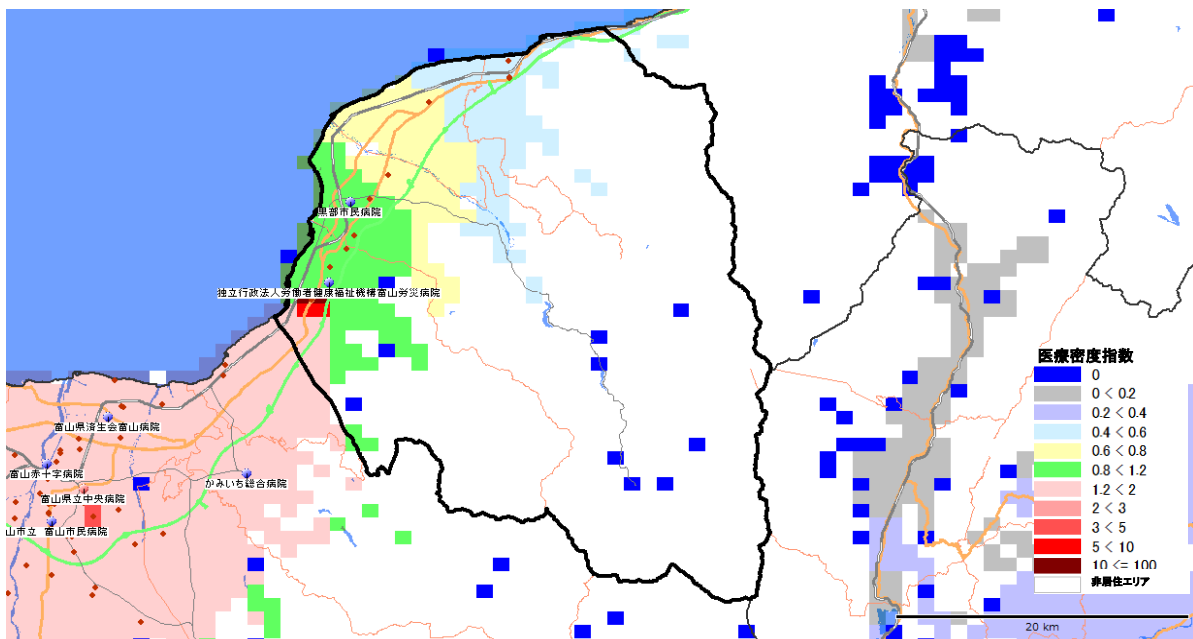


3. 医療密度⁵

図表16-1-1 急性期医療密度指数マップ



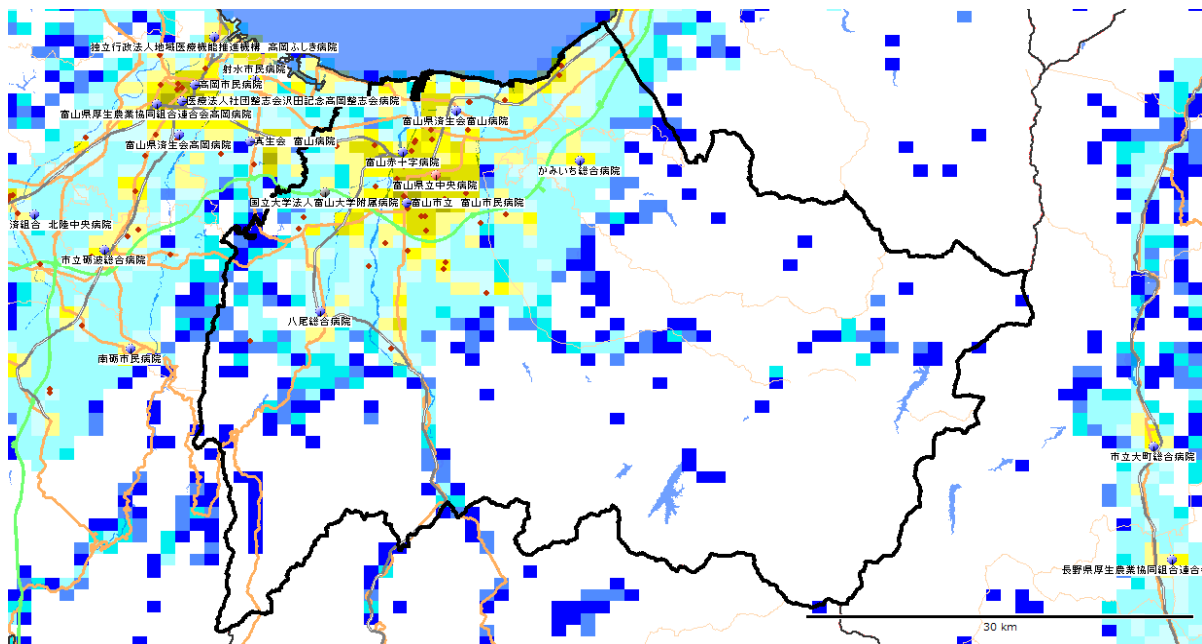
図表16-1-2 慢性期医療密度指数マップ



とやま 16-2. 富山医療圏

構成市区町村¹⁰ [富山市](#) [滑川市](#) [舟橋村](#) [上市町](#)
[立山町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群
一般病院

（富山医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 富山(富山市)は、総人口約500千人(2015年推計)、面積1844km²、人口密度は271人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 富山の総人口は2025年に473千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に416千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の70千人が、2025年にかけて92千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には87千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 富山の一人当たり医療費(国保)は342千円(偏差値56)、介護給付費は289千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 富山の一人当たり急性期医療密度指数²は1.22、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.48で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が55(病院医師数57、診療所医師数48)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は60と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は59と多い。富山には、年間全身麻酔件数が2000例以上の富山大学附属病院(I群)、富山県立中央病院(II群・救命)、1000例以上の富山赤十字病院(III群)、富山市民病院(III群)、500例以上の西能病院(III群)、済生会富山病院(III群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 富山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7420人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5686床(偏差値67)、高齢者住宅等が1734床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5838人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設67、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設78、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム48、グループホーム46、サ高住52である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、788人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

富山医療圏の総人口は、2005年508964人が、2015年に500256人と2%減少し、2025年の人口が472771人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

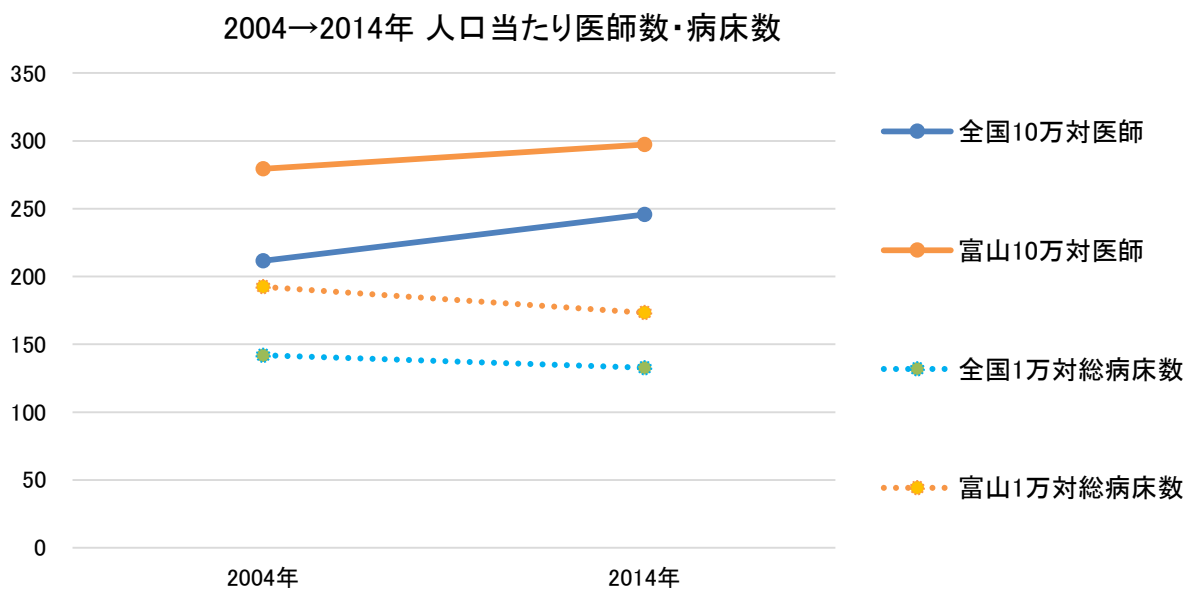
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が52(人口10万人当たり10.2病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2014年に50(人口10万人当たり10病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が381(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に382(人口10万人当たり76診療所(全国平均79)偏差値48)と、1診療所が増加した。

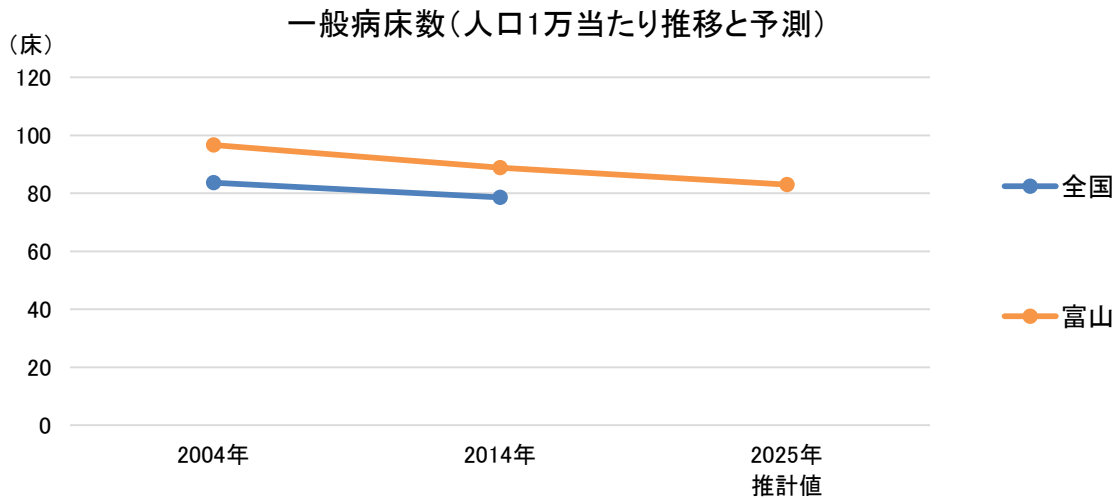
2004年の総病床数が9797床(人口1万人当たり192(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に8670床(人口1万人当たり173(全国平均133)偏差値57)と、1127床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1422人(人口10万人当たり279人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2014年に1487人(人口10万人当たり297人(全国平均246人)偏差値55)と、65人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



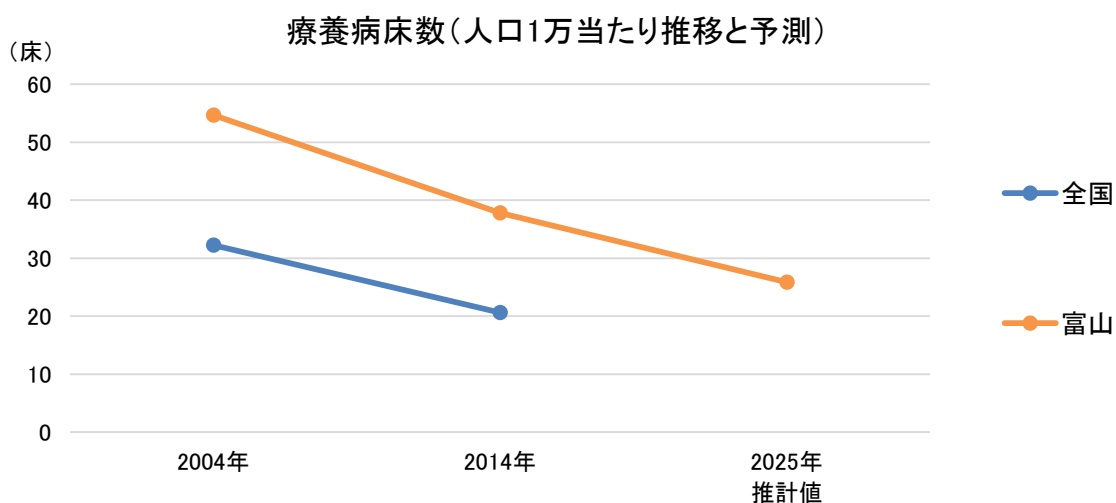
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4921床(人口1万人当たり97(全国平均84)偏差値55)であったが、2014年に4446床(人口1万人当たり89(全国平均79)偏差値54)と、475床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3924床(2025年の推計人口1万人当たり83)になることが予想される。



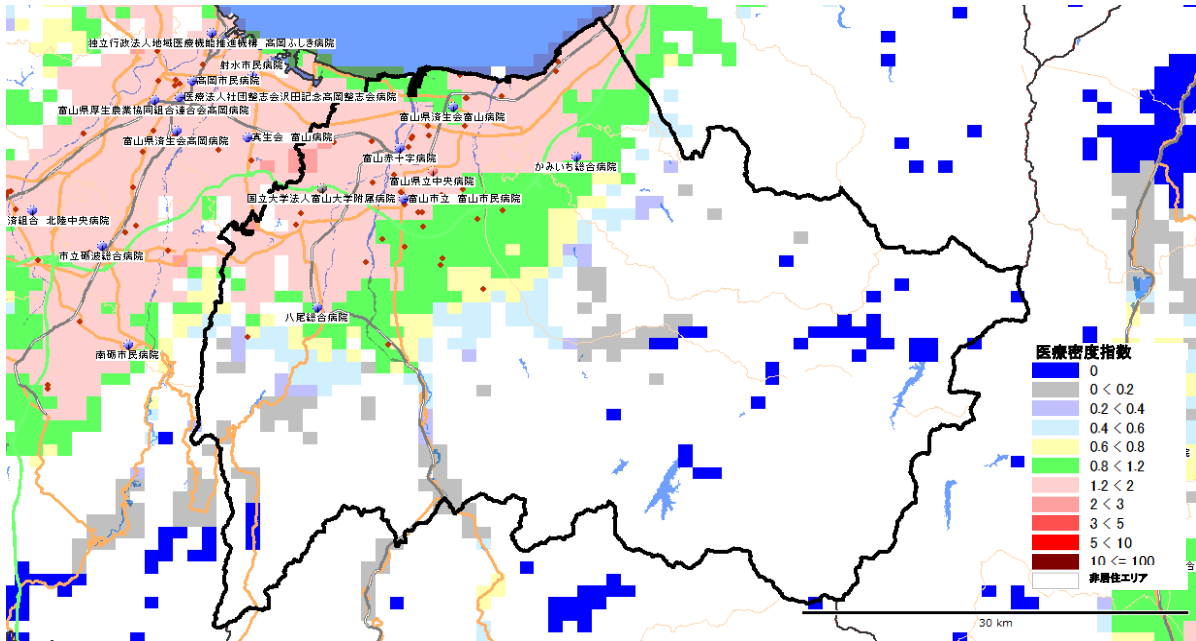
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2888床(75歳以上1000人当たり55(全国平均32)偏差値63)であったが、2014年に2639床(75歳以上1000人当たり38(全国平均21)偏差値65)と、249床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2365床(2025年の推計75歳以上1000人当たり26)になることが予想される。

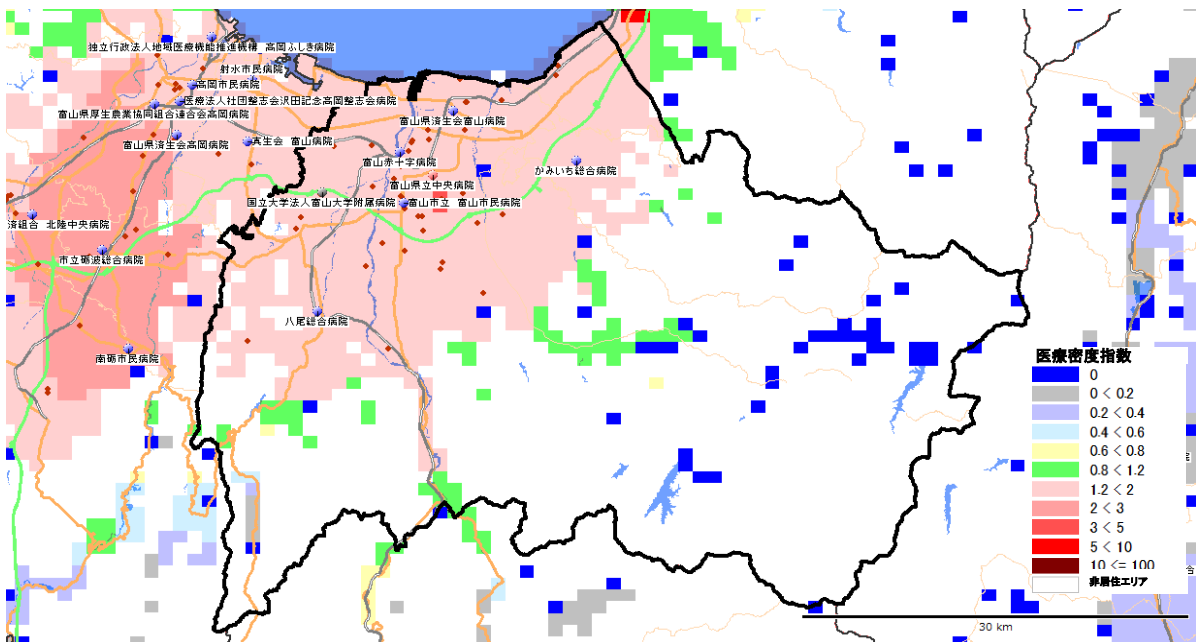


3. 医療密度⁵

図表16-2-1 急性期医療密度指数マップ



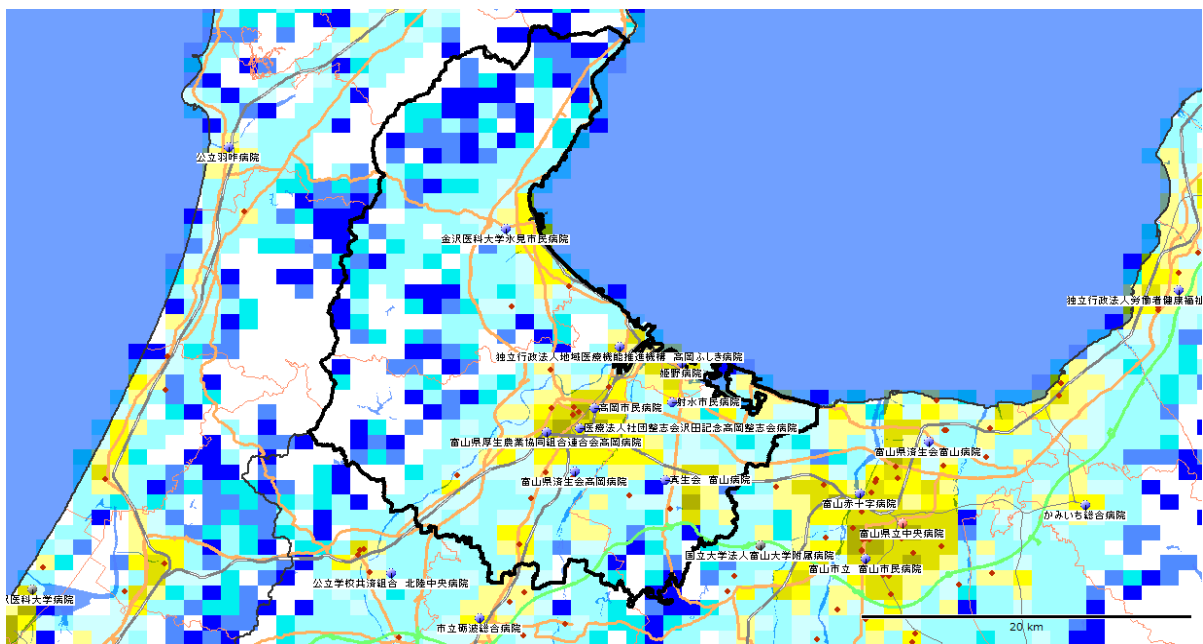
図表16-2-2 慢性期医療密度指数マップ



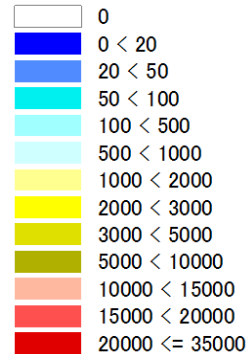
16-3. たかおか 高岡医療圏

構成市区町村¹⁰ [高岡市](#) [氷見市](#) [射水市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(高岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高岡(高岡市)は、総人口約310千人(2015年推計)、面積549km²、人口密度は565人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 高岡の総人口は2025年に283千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に235千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて62千人へと増加し(2015年比+29%)、2040年には55千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高岡の一人当たり医療費(国保)は342千円(偏差値56)、介護給付費は274千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 高岡の一人当たり急性期医療密度指数²は1.42、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.87で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数46、診療所医師数43)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。高岡には、年間全身麻酔件数が2000例以上の厚生農業協同組合連合会高岡病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の沢田記念高岡整志会病院(Ⅲ群)、高岡市民病院(Ⅲ群)、500例以上の済生会高岡病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4583人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3373床(偏差値59)、高齢者住宅等が1210床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4126人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設62、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム55、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、351人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

高岡医療圏の総人口は、2005年329933人が、2015年に310169人と6%減少し、2025年の人口が283228人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

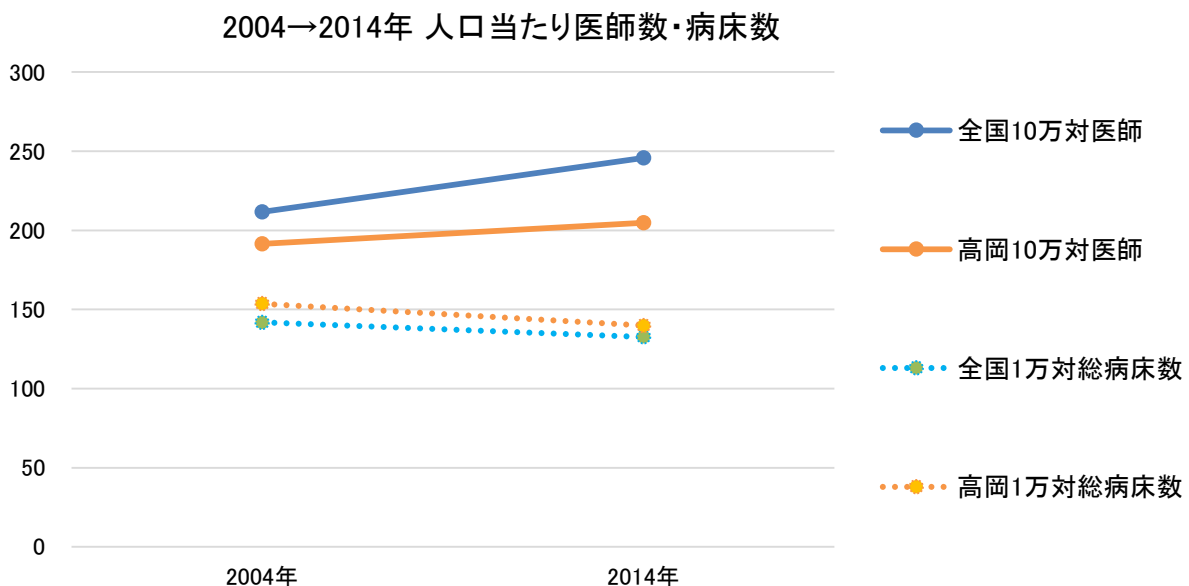
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が29(人口10万人当たり8.8病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に27(人口10万人当たり8.7病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が229(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に219(人口10万人当たり71診療所(全国平均79)偏差値46)と、10診療所が減少した。

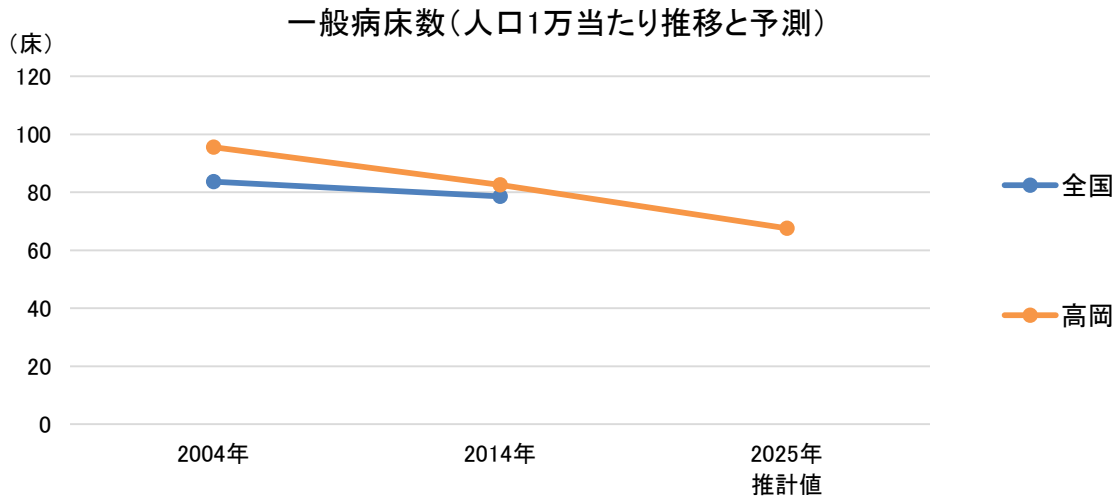
2004年の総病床数が5071床(人口1万人当たり154(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に4336床(人口1万人当たり140(全国平均133)偏差値51)と、735床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が632人(人口10万人当たり192人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に635人(人口10万人当たり205人(全国平均246人)偏差値46)と、3人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



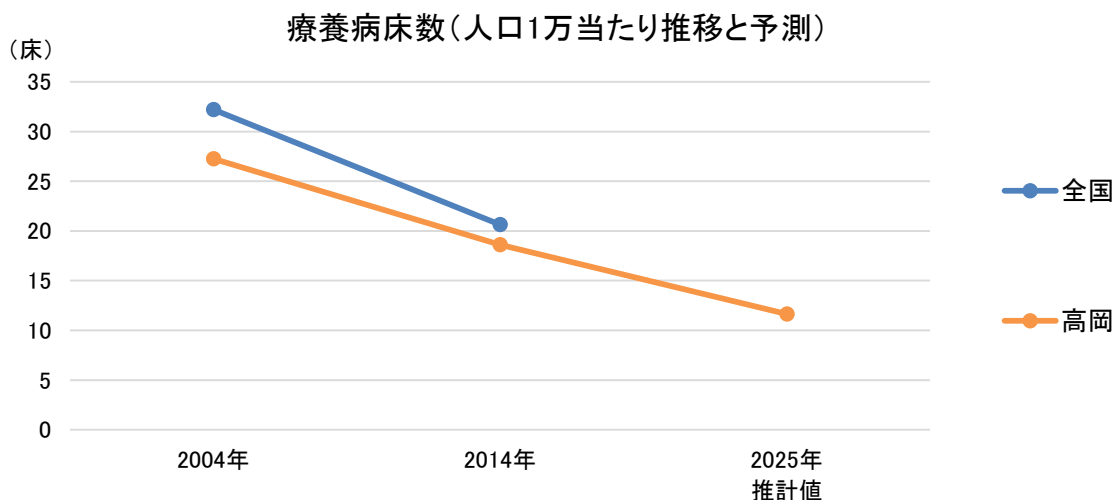
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3152床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に2562床(人口1万人当たり83(全国平均79)偏差値51)と、590床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1913床(2025年の推計人口1万人当たり68)になることが予想される。



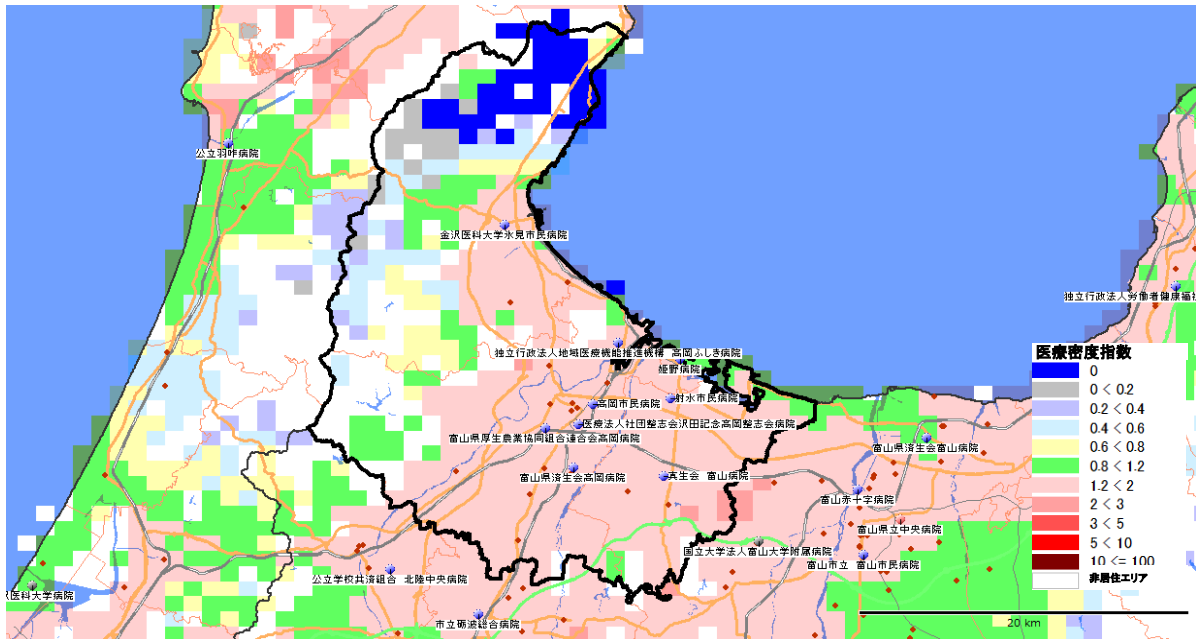
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1034床(75歳以上1000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に885床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、149床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には721床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

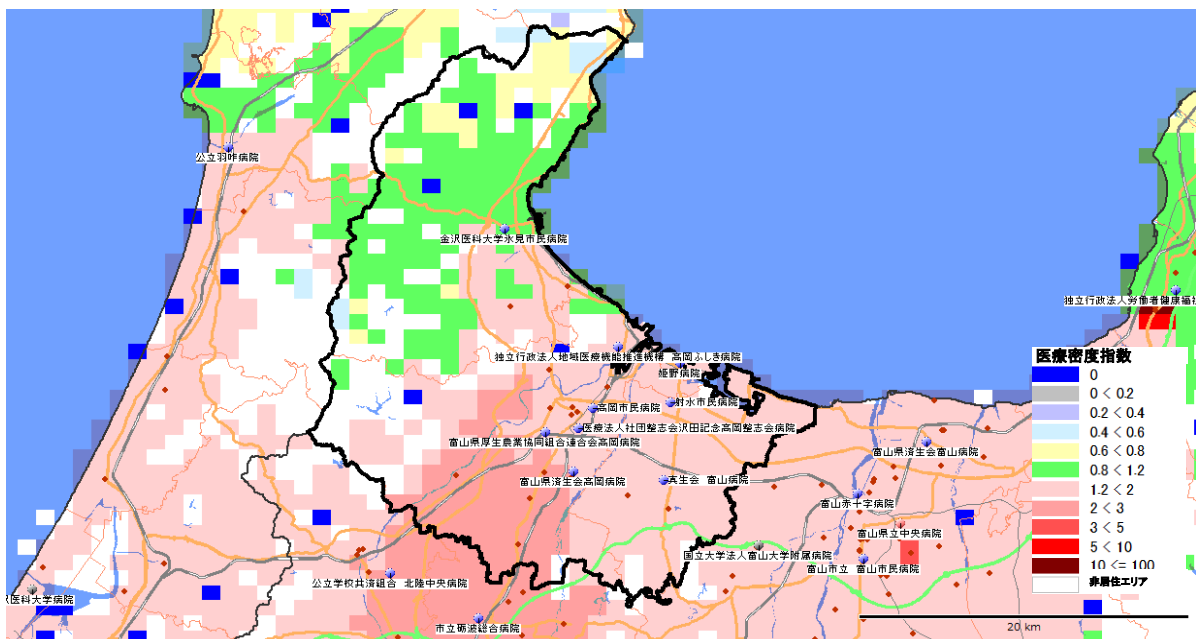


3. 医療密度⁵

図表16-3-1 急性期医療密度指数マップ



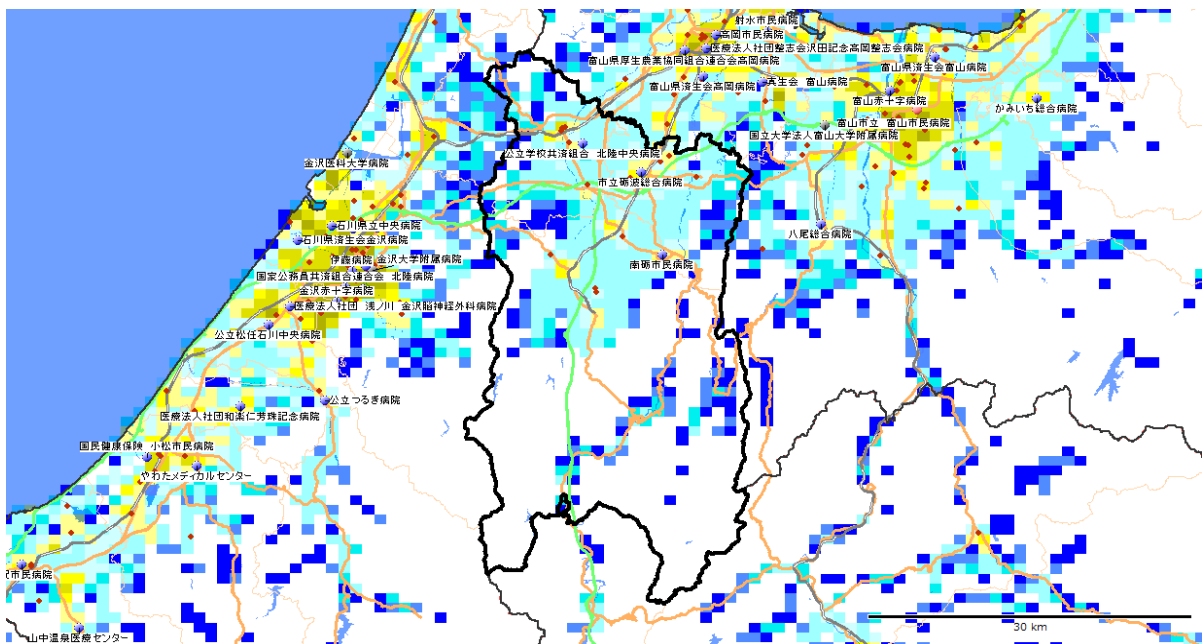
図表16-3-2 慢性期医療密度指数マップ



16-4. となみ 砺波医療圏

構成市区町村¹⁰ [砺波市](#) [小矢部市](#) [南砺市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（砺波医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 砺波(砺波市)は、総人口約131千人(2015年推計)、面積930km²、人口密度は141人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 砺波の総人口は2025年に119千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に99千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の23千人が、2025年にかけて27千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には25千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 砺波の一人当たり医療費(国保)は341千円(偏差値55)、介護給付費は294千円(偏差値61)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 砺波の一人当たり急性期医療密度指数²は1.29、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.06で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が45(病院医師数48、診療所医師数41)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は56と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。砺波には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立砺波総合病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は67と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値44と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 砺波の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2272人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1753床(偏差値63)、高齢者住宅等が519床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1953人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設85、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム67、サ高住33である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値30と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、148人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+5%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

砺波医療圏の総人口は、2005年141102人が、2015年に130833人と7%減少し、2025年の人口が118720人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

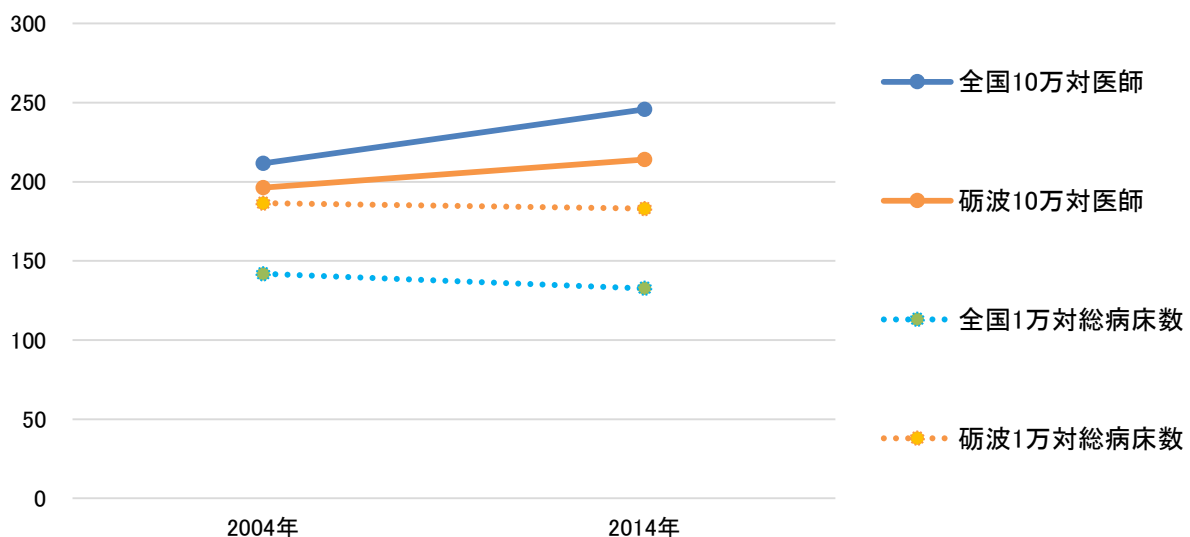
2004年の病院数が19(人口10万人当たり13.5病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に16(人口10万人当たり12.2病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が83(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に88(人口10万人当たり67診療所(全国平均79)偏差値44)と、5診療所が増加した。

2004年の総病床数が2631床(人口1万人当たり186(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に2394床(人口1万人当たり183(全国平均133)偏差値59)と、237床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

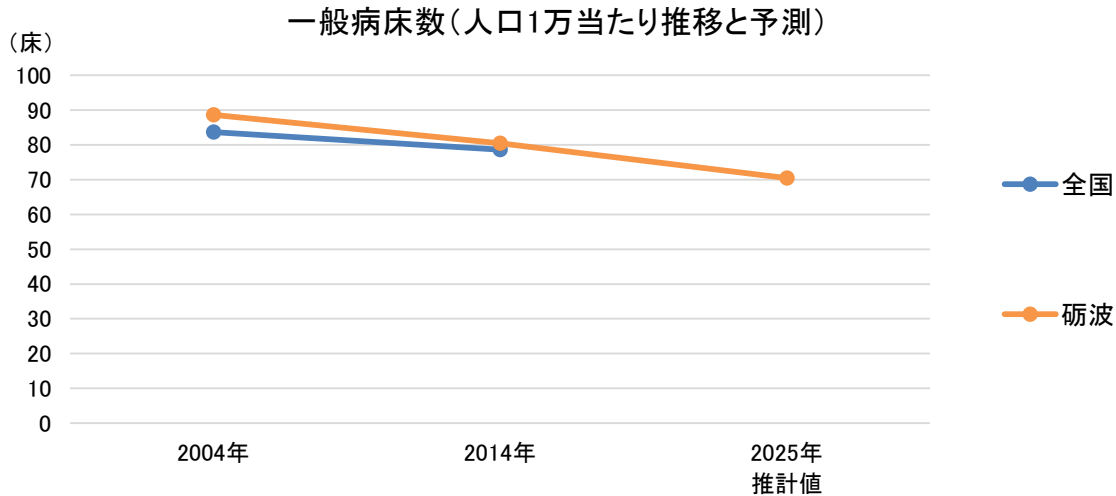
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が277人(人口10万人当たり196人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に280人(人口10万人当たり214人(全国平均246人)偏差値47)と、3人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



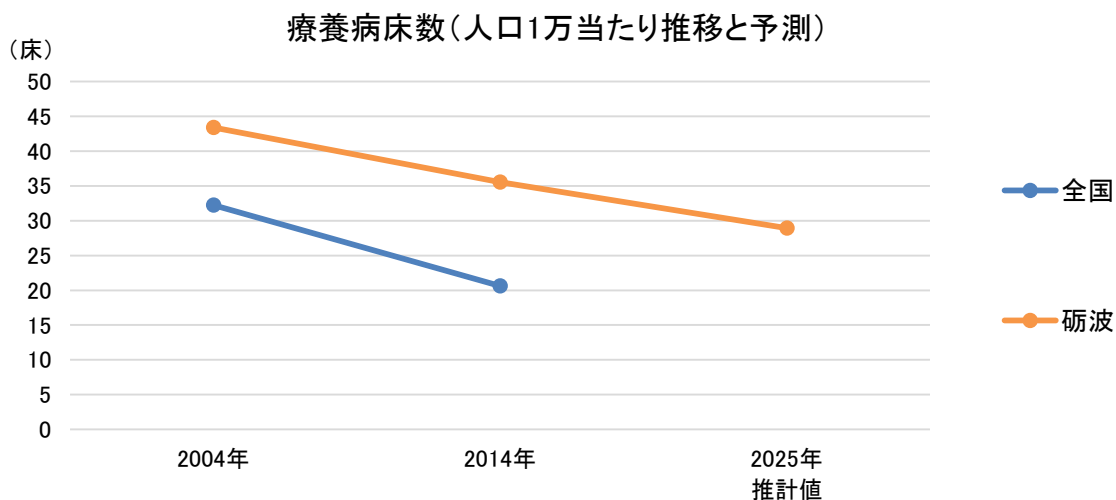
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1250床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に1053床(人口1万人当たり80(全国平均79)偏差値51)と、197床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には836床(2025年の推計人口1万人当たり70)になることが予想される。



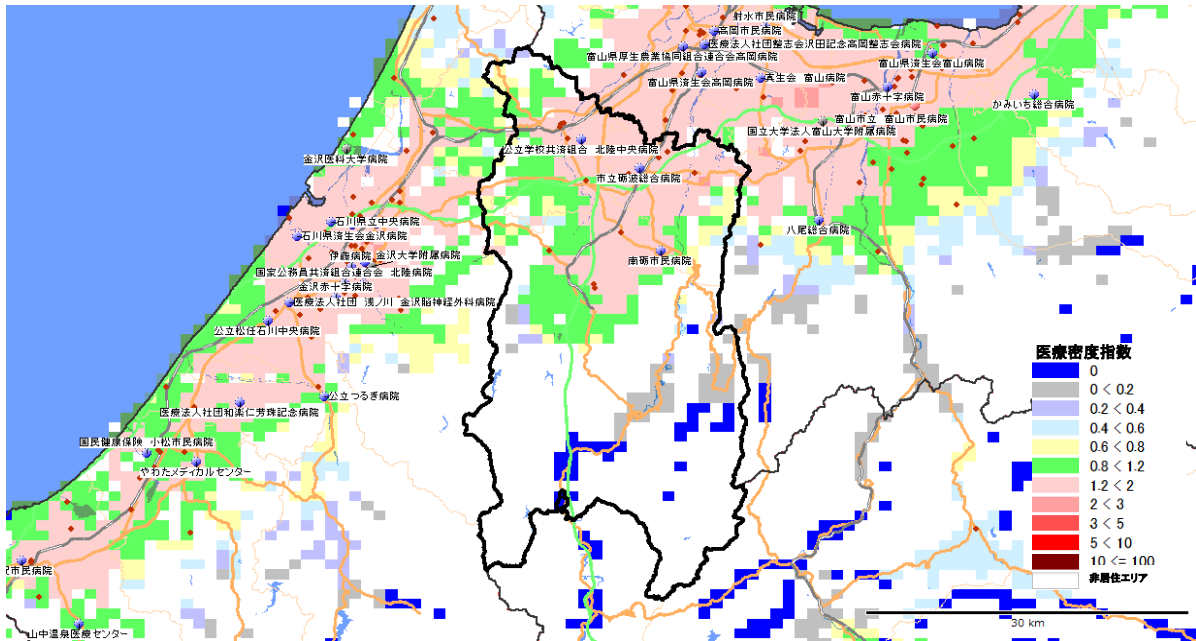
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が836床(75歳以上1000人当たり43(全国平均32)偏差値56)であったが、2014年に812床(75歳以上1000人当たり36(全国平均21)偏差値63)と、24床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には786床(2025年の推計75歳以上1000人当たり29)になることが予想される。

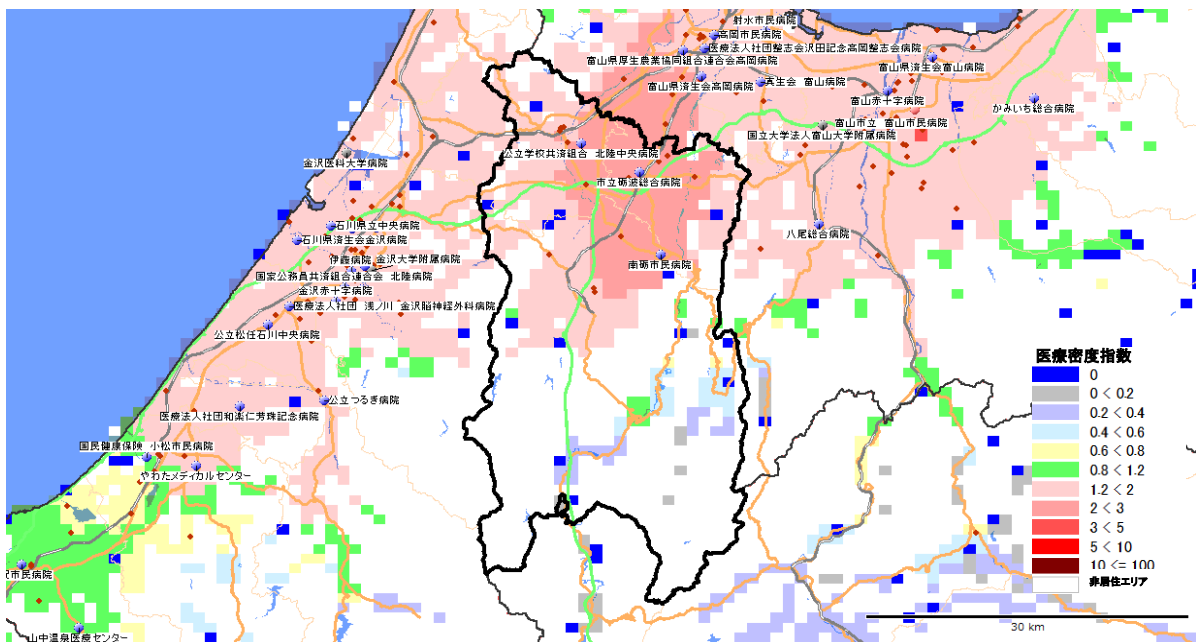


3. 医療密度⁵

図表16-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表16-4-2 慢性期医療密度指数マップ



16. 富山県（2016年版）

注

¹1km²区画（1km²メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km²以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km²）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km²未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no. 352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。